

1月3日(日) メッセージ 「すべてに成功する道」

1 目標を目ざして走る

(ヨシュア1:2) わたしのしもべモーセは死んだ。今、あなたとこのすべての民は立って、このヨルダン川を渡り、わたしがイスラエルの人々に与えようとしている地に行け。

(ピリピ3:13~14) ただこの一事に励んでいます。すなわち、うしろのものを忘れ、ひたむきに前のものに向かって進み、キリスト・イエスにおいて上に召してくださる神の栄冠を得るために、目標を目ざして一心に走っているのです。

(ヨシュア1:3~5) あなたがたが足の裏で踏む所はことごとく、わたしがモーセに約束したとおり、あなたがたに与えている。…あなたの一生涯の間、だれひとりとしてあなたの前に立ちはだかる者はいない。わたしは、モーセとともにいたように、あなたとともにいよう。わたしはあなたを見放さず、あなたを見捨てない。強くあれ。雄々しくあれ。

2 キリストにある成功の道

(ヨシュア1:7) ただ強く、雄々しくあって、わたしのしもべモーセがあなたに命じたすべての律法を守り行え。これを離れて右にも左にもそれではならない。それは、あなたが行く所ではどこでも、あなたが栄えるためである。

(3ヨハネ2) 愛する者よ。あなたが、たましいに幸いを得ているように、すべての点でも幸いを得、また健康であるように祈ります。

(マタイ25:21) よくやった。良い忠実なしもべだ。あなたは、わずかな物に忠実だったから、私はあなたにたくさんの物を任せよう。主人の喜びとともに喜んでくれ。

(ヨシュア1:8~9) この律法の本を、あなたの口から離さず、昼も夜もそれを口ずさまなければならない。そのうちにしるされているすべてのこ

とを守り行うためである。そうすれば、あなたのすることによって繁栄し、また栄えることができるからである。

わたしはあなたに命じたのではないか。強くあれ。雄々しくあれ。恐れてはならない。おののいてはならない。あなたの神、主が、あなたの行く所どこにでも、あなたとともにあるからである。

3 家族に周りに広がる祝福

(ヨシュア24:14~15) 今、あなたは主を畏れ、誠実と真実をもって主に仕えなさい。あなたの先祖たちが川の向こう、およびエジプトで仕えた偶像の神々を除き去り、主に仕えなさい。

もしも主に仕えることが気に入らないなら、川の向こうにいた先祖たちが仕えた神々でも、今あなたがたが住む地のエモリ人の神々でも、あなたがたが仕えようと思うものを、どれでも、きょう選ぶがよい。私と私の家とは、主に仕える。

(レビ5:7~10) しかし、もし彼に羊を買う余裕がなければ、自分が犯した罪の償いとして、山鳩二羽あるいは家鳩のひな二羽を主のところを持って来なさい。一羽は罪のためのいけにえ、他の一羽は全焼のいけにえとする。彼はこれらを祭司のところを持って行き、祭司は罪のためのいけにえとなるものを、まずささげなさい。

…それから罪のためのいけにえの血を祭壇の側面に振りかけ、血の残りはその祭壇の土台のところに絞り出しなさい。これは罪のためのいけにえである。祭司はもう一羽のほうも、定めに従って全焼のいけにえとしなければならない。祭司はその人のために、その人が犯した罪の贖いをしなさい。その人は赦される。

(イザヤ1:18) さあ、来たれ。論じ合おう、と主は仰せられる。たとい、あなたの罪が緋のように赤くても、雪のように白くなる。たとい、くれないのように赤くても、羊の毛のようになる。